

2025年度事業活動の概要

講演会、資材展示圃の成績・設計検討会については、対面とオンラインを併用したハイブリッド方式により開催した。

公益目的事業では、農薬講演会、植物防疫講演会を主催、植物防疫技術研修会を共催し、生産現場の課題解決に有効な情報の提供と共有化を図った。最近の植物防疫に関する話題を内容とする機関誌「三重の植物防疫」70号、71号を発行し、関係機関に配布した。本県の植物防疫における現場課題の解決に寄与することを目的に、県内で新たに発生が問題となった病害や雑草の防除対策について、三重県農業研究所と共同研究を実施した。

試験事業では、一般社団法人日本植物防疫協会からの農薬残留試料調製試験を当協会で開催した。また、一般社団法人日本植物防疫協会および公益財団法人日本植物調節剤研究協会からの委託試験を三重県農業研究所に再委託し、課題解決に有望な資材について農薬登録の取得に向けて取り組んだ。新規登録農薬、肥料や新規開発資材等を対象に、農業生産、芝草管理の現場における普及性、問題点を明らかにするため、農業資材展示圃および芝草管理資材展示圃を賛助会員のご協力を得て設置した。農業資材展示圃は、三重県農業改良普及センター、三重県農薬商業協同組合およびJA全農みえが実施し、芝草管理資材展示圃は、三重県ゴルフ連盟が実施した。